

No.	ご意見	回答	局	担当課
1	<p>空港までの市電延伸の提案 現在グランメッセまで市電延伸の計画があるようだが、運動公園、免許センター、空港カントリークラブの南を通して空港まで延ばしてはどうか。 南海トラフの九州対策本部が熊本に決まったことや、人口減少が進む中で、商業や住宅など都市機能を市街地に集約し、交通機関に結びつけることで地方都市の活力を高める必要があることを前提として、市電の延伸の提案をしたい。 空港利用者は300万1806人、運動公園利用者は79万7679人、免許センター利用者は私の推計だが1年間で1万2000人ぐらい、これを合わせると380万人になる。この30%が市電を利用するとして、運賃300円で計算すると年間3億4200万円の売り上げとなる。 もし、市電の空港までの延伸が決まると、熊本駅や上熊本駅から空港へは目をつぶっていても簡単に行けるようになる。それから、戸島地区の発展に繋がって住宅ができてくる。市の中心部へ簡単に行けるようになるし、通勤通学もしやすくなる。イベントのアスレチックパークへの誘致、また、熊本空港の活性化にも繋がる。 更に、南海トラフ地震の際には、市電を利用した空港への物資輸送や一時保護者の輸送なども可能となる。 建設費については全く分からないので、例えば5カ年なら5カ年計画で、県に援助してもらったり、起債したりするなどしたらどうか。 これは、提案であり、要望ではない。</p>	<p>市電の延伸については、検討の着手を市長選挙のマニフェストに掲げていた。今年度から調査費用をつけ、事業性の調査をしているところである。 以前、平成15年位にも延伸の計画を出したが、渋滞や事業費などの理由で頓挫した経緯がある。 しかし、今では当時と環境が変わり、JRや市電の利用が増えている。今度、力合の近くには、新駅「西熊本駅」もできる。今、鉄軌道の利用は、全国的にも伸びている。 その一方で、バスの利用は落ち込んでいる。いろいろな要因があるが、市電や鉄道は分かりやすいので、幅広い年代の方、県外から来た方も乗りやすい。外国の方もよく乗っている。 そのようなこともあり、市電の利用者は伸びており、雨の日の朝の健車町電停や、通町筋の最終電車などでは、電停が人であふれて乗車できない状況となっている。 市電の車両は、現在45編成あり、COCOROのような新しい車両もあるが、多くは古い。1両編成だったりすると、なかなか乗れない。このような状況も、今から変えていかなければならない。 ただ、新車両を1編成導入するのに約3億の費用が掛かるため、西鉄から譲り受け車庫に眠っている2両編成の古い車両を復活させて走らせることができないかなど、いろいろと考えている。 しかし、現在、運賃150円均一では赤字の状況である。鹿児島市では市電の運賃はもっと高く、同じような距離で170円均一なので、今後の運賃については検討させていただいている。 将来的に便利になれば、車から市電にシフトしていくことが考えられる。高齢者の免許証返納も増えており、公共交通の整備については、ある程度利活用のあるところでは多少車線に変更を加えてでも取り組んでいくべきと考えている。 現在、このような考えを基に検討しているところなので、本日いただいたご提案のアイデアも参考にさせていただき、議会とも相談しながら考えていきたい。</p>	都市建設局	都市政策課
2	<p>富合駅周辺の防犯について 富合駅の駐輪場を利用するが、自転車の盗難が多い。我が家では、自転車を3台、サドルまで盗られた。 市役所に問い合わせたところ、駐車場の車はJRで管理し、駐輪場は市の管轄とのことだが、電話に出た職員は何も知らないようだった。一度、現地を視察に来てほしい。 富合駅周辺は夜暗いので、防犯カメラを設置してもらうことなどはできないだろうか。</p>	<p>(区長) 住民の方の不安が軽減するように、防犯カメラの設置等についても都市建設局で検討中なので、もうしばらくお待ちいただきたい。 (富合駅高架下駐輪場における防犯カメラの設置などの防犯対策については、地元自治会と協議しながら検討を重ね、犯罪の抑止効果を高める対策を講じている。【自転車対策室】)</p>	都市建設局	土木管理課 自転車対策室
3	<p>現場から市長に現状が伝わっているかの確認 市長の思いが市職員に伝わっていないように感じるので、いくつか市長に質問をする。時間が無いので、○か×かでお答えいただきたい。</p> <p>①市では、防災重視ということでハザードマップの作成に力を入れている。これは作るのが目的であり、完成した後に新たに危険箇所が発生しても、作り直すことはない。自治会に勝手にやれと言っている。</p> <p>②市は安全なまちづくりに力をいれており、自治会から通学路沿いの水路にガードレール設置の要望があったら努力する。その際、市は水路を管理する農区の了解をとるように言うが、市の方から農区に働きかけることはない。</p> <p>③自治会の仕事は市の仕事ではないから、市の職員は自治会の役員にはなるな、自治会活動を行う時は休暇を取って行えと言っている。</p>	<p>今、貴重なご意見をいろいろといただいたが、私は、市職員には地域活動も含めてできるだけ参加するように言っている。 担い手がいない中で、市の職員でも消防団の団長などいろいろな地域活動をしている者もいる一方で、業務の都合で地域活動に参加することが難しい部署もある。このような部署は別にして、地域活動等にはできるだけ積極的に参加するよう心がけさせているつもりである。 また、先ほどクイズ形式で読み上げられたカードの資料は、後でいただくとありがたい。それを整理して、実態を確認したい。いただいた要望、苦情はヒントになるので、どんどん言ってほしい。 例えば、「市長への手紙」というものがあり、まず広聴課で受け付け、各担当部署に振り分け対応しているが、現段階でできることを皆で考えて、最終的に私の名前で返事を返すようにしている。そのような形でご意見やご提案をいただくと、私も考える契機とし、現場で起こっていることの改善に繋げることもできる。 したがって、むしろ厳しいご意見にこそ耳を傾け、どうすればそれを改</p>	市民局 総務局 都市建設局 南区役所 市民局 総務局	広聴課 危機管理防災総室 西部土木センター 維持課 農業振興課 区政推進課 人事課

No.	ご意見	回答	局	担当課
3	<p>④市の図書館でパソコンは自由に使ってよい。ただし、パソコン用の電源は図書館のコンセントを使ってはいけない。</p>	<p>善し、市民の皆様の満足度を上げていけるのかを考えることは重要である。 厳しい意見もしっかりと受け止めていくので、よろしく願います。</p>	教育委員会	図書館
	<p>⑤まちづくりの行事に、対話重視で多くの意見を聞くためワークショップ方式を取り入れている。ただし、これはいい意見を聞くだけで都合の悪い意見は市長に上がっていないのではないか。 そのためワークショップで出た意見を集約して参加者に知らせることはない。何も報告はない。おまけに横の連絡が取れてないので、私は明日も同じようなまちづくりの会議に出席する予定だ。部署ごとに実施するので、そのようになるのだと思う。</p>	<p>（①地域版ハザードマップ作成過程において、地域の皆様がまち歩きを行い、危険箇所や避難場所、避難経路等について確認しあうことや、マップをもとに家庭で防災について話し合うなど、「自助」「共助」の意識の涵養に繋がるものと考えている。 また、出来上がったマップを町内の避難訓練等に活用いただくようお願いするとともに、本市で地域版ハザードマップ公開システムに入力しHPに掲載しているところであり、道路の新設や危険箇所の増加等により変更があった場合は修正していくこととしている。是非、マップ作成に取り組んでいただきたい。【危機管理防災総室】）</p>	市長政策総室	政策企画課
	<p>⑥特に言いたいことだが、今度つくられるまちづくりセンターは、市役所職員だけで構成したら、たぶん何もできない。身内では、悪いことは上役に上げられないと思う。したがって、第3セクターでつくってほしい。</p>	<p>（②現地の状況（危険性等）判断において、ガードレール及びガードパイプ等の設置を行っている。要望箇所の現地確認を行い、必要性に応じて関係機関との調整のうえ設置を行う。 【西部土木センター維持課】）</p> <p>（②南区役所農業振興課が所管する農道に関する要望については、関係団体等の理解を得ながら対応している。【南区役所 農業振興課】）</p> <p>（③市職員が自治会活動に参加することは、地域コミュニティ活動の活性化のため有用であると考えており、今後とも推進していきたい。【区政推進課】）</p> <p>（③地域力の維持・向上が一層重要になる中で、職員には自らが住む地域の活動に積極的に参加してほしいと考えており、行政と地域の実情を知るような職員となって、今後の自主自立の地域づくりに貢献できるよう地域活動への参加を促していきたい。【人事課】）</p> <p>（④熊本市立図書館、熊本市立城南図書館及びくまもと森都心プラザ図書館では、学習室（席）を設けパソコンをご利用の際、電源の提供も行っている。 しかし、植木図書館では、現在、電源が提供できる環境ではないこと、とみあい図書館は、平成27年4月から、公民館図書室から図書館分館に移行したが、電源について対応していなかったため、早急に提供できるよう検討する。 なお、公民館図書室においては、学習席のスペースがほとんど無く閲覧席のため、パソコンの持ち込みができる場所は3箇所しかなく、電源の提供は行っていない。今後、公民館図書室において、パソコン及び電源の提供については、公民館と協議を行っていく。【市立図書館】）</p> <p>（⑤新総合計画の策定にあたっては、まず、市民の皆さまのご意見を伺い、計画案の作成を行っていくこととしており、6月以降行っているワークショップや市民懇話会では中学生以上が参加できるようにして、幅広い意見をいただいている。 ワorkshopでいただいた意見は、ホームページに公開をして、参加</p>		

No.	ご意見	回答	局	担当課
3		<p>者の皆さんにもご覧いただけるようにしている。 今後は、地域情報や課題を収集する役割をとする地域担当職員を配置して、収集した情報を市政に反映させていけるような制度づくりを進めてまいりたい。【政策企画課】)</p> <p>(⑥地域のまちづくりを推進するためには、市職員だけでなく、地域団体、民間事業者、ボランティア団体など、多くのまちづくりの担い手のみなさんとの連携・協力が必要だと考えている。 (仮称)まちづくりセンターの設置にあたっては、地域担当職員の配置のほか、市職員を含めた地域に住む皆さんを対象に、(仮称)地域支援チームの創設についても検討したいと考えている。【区政推進課】)</p>	市民局	区政推進課
4	<p>西熊本駅の周辺整備について 私は、40年間、力合校区のまちづくりの会長を務めてきた。高齢につき辞めることにしたところ、大問題が起きた。 先ほど、市長からいろいろ不祥事があると言われた。非常に残念だが、役所はそのようなところだという1つの大きな証明をする。 西熊本駅周辺の県農業試験場跡地については、平成2年に県の認可を得て38.2haの区画整理を行った。途中でいろいろ問題があり、平成2年の事業が途中で頓挫してしまったため、平成21年に私は1万277名の署名がある請願書を出した。その請願書の取扱いについて、その後、どうなったのか連絡がないので、あちこちでミスが起こってくるということになった。 昔のことを言っても仕方がないので現状を説明する。この県農業試験場跡地について、A区画では、来年の秋に商業施設が開業する。B区画・C区画では、既に商業施設等が開業している。この中で開業していないのが、D区画である。このD区画の請願書を平成21年に県と市に出したが、それに対する回答が全くない。 そこで、トラブルが発生した。私達がD区画として請願していた土地を、私達に何の相談もなく、県が勝手にマンションにすると新聞に掲載されていたのである。 ここ一帯は田園都市で、そういう風景を残しながらまちづくりをするということが最初のときから決まっていた。それを変更するというならば、変えるための手続きをすべきである。それをせず、マンションということになったので反対をし、知事、副知事のところにも行った。だが、それに対して返事がない。 同時に、熊本市では前市長が辞め、話をする市長がいない状況になっていた。大西市長にバトンタッチしてもらわなければならない。 そもそも、不祥事が起きるのは、不祥事が起きやすい組織だからだ。県はいろいろな法律や条例などに違反しており、どんどん違反を重ねている。これは、県だけでなく市にもある。このようなことが引き金になって、不祥事に繋がるのではないかと。 私達は、1万2千㎡が、D区画を活用する対象面積だと長年言ってきたが、市は線引きが違うと言うし、県はマンションを建てると、返事も全くないが、私達の要望は一体どうなったのか。 D区画の8,041haは熊本市が管理することを望む。この土地は民間に譲ることを前提とした土地ではないし、農業試験場にすると当時の地権者に行われた説明も、後々地価が上昇し成立しなくなっているなど大きな問題もあるのだから売却してはならないと県知事にも手紙を書いて訴えたが、返事がない。</p>	<p>県農業試験場跡地の問題については、県には平成2年ごろにも請願書が出ており、私も県会議員のころから関心を持ってきた。 ここに西熊本駅が完成すれば、電車も上り下り合わせて1日125本くらい停車する。1日の乗車数1,200人を見込んでいるが、利便性が高まれば更に利用者数も増えていくことが考えられ、いろいろな可能性がある地区である。西熊本駅は、JRではなく、熊本市が12億円の市の予算を使ってつくるものなので、本市としては、まずはこれを成功させなければならぬ。 D区画をどうするかについては、県の土地、すなわち県民の財産なので、県で考えていただくことと認識している。仮にD区画を市が購入するとすれば、目的が明確でなければ市議会を通らない。D区画の利活用については、県が所有者なので、皆さんから県に働きかけていただきたい。 今回ご意見をいただいたことは、県市のいろいろな連携会議の中で、私からも活用法について呼びかけることはできる。 読み上げられた要望書では、多くのご要望をいただいたので、まずはそれらを受け止め、検討したい。 西熊本駅周辺を中心とした、富合を含む南区については、これから相当発展することが見込まれる地域だと思う。今後、JRの熊本駅前の再開発もあり、この辺りは動線として繋がっていくので非常に利便性も高くなる。人口は減少していく傾向にあるが、地域が魅力的であれば、ある程度踏みとどまることも考えられる。 本日お話しいただいた資料については、参考とさせていただきます。</p> <p>(西熊本駅の東側にあるD区画については、これまで熊本県において利活用について検討されてきたところであり、本市にも平成25年4月と8月に取得希望の調査があったものの、市が主体となって利活用する計画はないと回答させていただいたところである。 また、利活用策の一つとしてご意見をいただいた車両ターミナルなどとしての活用については、現在計画中の駅前広場などにはバスやタクシーの乗降場をはじめ、送迎用の駐車スペースや高架下に駐輪場を配置するなど駅前広場として必要な機能を確保することとしており、駅利用者向けの駐車場についても、JR九州が需要を見きわめつつ、必要に応じて高架下に整備を検討されることとなっていることから、本市がD区画を活用して駐車場等を整備することは考えていない。 しかしながら、ご意見いただいたようにD区画の土地利用については、地域の方々の強い思いもあることから、本市としても地元で議論されていることを改めて県にお伝えするとともに、引き続き地域拠点としてふさわ</p>		

No.	ご意見	回答	局	担当課
4	<p>D区画については、私達が九州横断国際観光道路と呼んでいる長崎・熊本・大分を結ぶ51号線の駐車場などに利活用すれば、観光客の集客等にも役立てることができると思う。 九州、熊本のためにも、D区画は市で管理してほしい。</p>	<p>しい土地利用が図られるよう働きかけていく。 また、西南部地域における新たな交通結節点となる西熊本駅予定地は、JR鹿児島本線と東バイパスから熊本港に繋がる主要地方道熊本港線の交差する交通の要所に位置することから、円滑な交通処理を行うために、西熊本駅への出入り口となる熊本港線の新幹線西側で交差点改良を行うとともに、駅前広場に東バイパスライナーを乗り入れて結節を図り、JRとバス相互のスムーズな乗りかえが図れるように、今後、バス事業者との協議を進めていく。【交通政策総室】</p> <p>（観光面では、九州中央という地の利を活かし、長崎・大分を結ぶ横軸連携や福岡・鹿児島を結ぶ縦軸連携により、プロモーションに取り組んでまいりたい。【観光振興課】）</p> <p>（現状の熊本港は、-7.5mの貨物船岸壁1バースが整備され、クルーズ船においては2～3万t級までの入港ができるようになったところである。しかし、最近の各国のクルーズ船は大型化し、7～10万tを超える船も多くなっている状況であり、熊本港も港湾計画にある-10m岸壁の早期整備について、今後も国や県に要望していく必要があると考えている。 海外展開については、東アジア諸国との経済交流等を行っているところであるが、そのためのクルーズ船購入や船員養成については行政では予定していない。【産業政策課】）</p> <p>（⑥としていただいたご意見の内容については、個人情報を除き、所管先の熊本県へ情報提供させていただく。【広聴課】）</p>	都市建設局	交通政策総室 都市政策課
5	<p>「要望書」について 平成27年1月13日報道。 「高市早苗総務相と麻生太郎財務相は12日2015年度の地方全体の収支見通しについて折衝し、歳入で自治体が自由に使える一般財源総額を過去最高の61兆5千億とすることで合意した。自治体に配る地方税総額は14年度比1千億円減の1兆6兆8千億円。歳出項目には「まち、ひと、しごと、創生事業費」をあらたに設け1兆円を計上した。」と報道で知った。 地元まちづくりはこの1兆円狙って、次の通り要望する。1兆円を47都道府県で割ると1県当たり約220億円、27年度一般会計熊本市年間予算＝2,962億円。</p> <p>① 九州横断国際観光道路、(長崎、熊本、大分県)を利活用しD区画は観光ブームに乗って、「まち、ひと、しごと、」について、まちには観光ガイド学校100名収容の建物及び設備、外国人客の土産品販売、観光案内、西南部の交通及び観光結節点、駐車場、車の給油施設、サブバスターミナル、パークアンドライド等の社会基盤整備などの千載一遇の機会でもある。西南部地方の発展の拠点としての整備が必要。</p> <p>② 熊本港を5万トン級が入港できるようにすること。現行約3万トンクルーズ船1隻、集貨物船1隻、計2隻購入し船員養成を行い海外展開を行う準備に取り組んでもらいたいと願っている。 また、九州観光の中心地であるから熊本市に頑張って九州観光、国際観光のタクトを存分に振るっていただきたいと願っている。 既に社会基盤整備済みの公共交通接続の総合機能発揮政策により、熊本県民市民の福祉向上、都市機能の発展などに多大な成果が期待できるD区画と確信している。 有明海は干潟港で、埋まったら掘ることも先輩達は承知の上で記録に残している。稼いだ金で掘るように、作る時から覚悟している。 TPP交渉がまとまれば12カ国の貿易が盛んになるのは明らかである。</p>	<p>しい土地利用が図られるよう働きかけていく。 また、西南部地域における新たな交通結節点となる西熊本駅予定地は、JR鹿児島本線と東バイパスから熊本港に繋がる主要地方道熊本港線の交差する交通の要所に位置することから、円滑な交通処理を行うために、西熊本駅への出入り口となる熊本港線の新幹線西側で交差点改良を行うとともに、駅前広場に東バイパスライナーを乗り入れて結節を図り、JRとバス相互のスムーズな乗りかえが図れるように、今後、バス事業者との協議を進めていく。【交通政策総室】</p> <p>（観光面では、九州中央という地の利を活かし、長崎・大分を結ぶ横軸連携や福岡・鹿児島を結ぶ縦軸連携により、プロモーションに取り組んでまいりたい。【観光振興課】）</p> <p>（現状の熊本港は、-7.5mの貨物船岸壁1バースが整備され、クルーズ船においては2～3万t級までの入港ができるようになったところである。しかし、最近の各国のクルーズ船は大型化し、7～10万tを超える船も多くなっている状況であり、熊本港も港湾計画にある-10m岸壁の早期整備について、今後も国や県に要望していく必要があると考えている。 海外展開については、東アジア諸国との経済交流等を行っているところであるが、そのためのクルーズ船購入や船員養成については行政では予定していない。【産業政策課】）</p> <p>（⑥としていただいたご意見の内容については、個人情報を除き、所管先の熊本県へ情報提供させていただく。【広聴課】）</p>	<p>都市建設局</p> <p>農水商工局 観光文化交流局 都市建設局</p>	<p>交通政策総室 都市政策課</p> <p>産業政策課 観光振興課 交通政策総室</p>

No.	ご意見	回答	局	担当課
5	<p>③ 新駅広場への進入口、出口での一般車・公共道路バス・交通結節点としての信号機設置による機能拡充によって、熊本市道・国道3号線・国道57号線における各交差点での右折左折により、鉄軌動と公共交通機関の有効利用など計り知れないものがある。 面積不足の場合、C区画利用も考えなければならない。</p>			
	<p>④ この起点は、巨大公共施設・アクアドーム・グランメッセ・パークドームに直線で結ばれている。日本的規模のイベント等への交通結節機能が発揮できる。</p>			
	<p>⑤ 更に、日本のへそは東京、九州のへそは熊本、熊本のへそは農試跡地D区画であり、九州の中心点として、県道51号線（熊本港線・近見沖新線）旧国道熊本市道・九州の縦軸国道3号線とも直結しており、西方・熊本新港・天草・島原・雲仙・長崎へ。北方・熊本中心市街地・交通センターへ。東方・菊池・湯布院・阿蘇山・大分・別府・宮崎へ。南方・八代・人吉・鹿児島へ、と巨額血税投資による社会基盤整備済みの交通結節点・観光結節点の優位性を既に備えている地点である。</p>		都市建設局 農水商工局	交通政策総室 観光振興課
	<p>⑥ 阿蘇地区の観光環境整備について、阿蘇山は世界一の観光資源を持ちながら宣伝が下手で世界に知られていない。 眠っている大自然を観光ブームで目を覚ませ27万年の間に7回の噴火、地鳴り、大草原、大カルデラの見える大観峰あたりに観光タワー設置、キャンプ場10箇所新設、人工芝スキー場新設、阿蘇の歴史、生活文化、伝統などを知らせる総合会館の建設、外国語の看板が必要。世界選手マラソン大会の実施、赤牛バーベキューの試食の提供、オリンピック案内で世界に宣伝の絶好のチャンスである。 地方創生1兆円を見逃すことなく熊本市の発展の為、花火のごとく頑張ってもらいたい。地域と一緒に頑張ってほしい。以上要望する。</p>		市民局	広聴課

No.	ご意見	回答	局	担当課
6	<p>雁回山の整備について 先般、三角西港が世界遺産になった。国の統計によれば、今年は年末までに、1,800万人の外国人観光客が日本を訪れるとのことで、観光事業の重要性を認識している。</p> <p>ところで、雁回山は本県中央にあり、優れた歴史と豊かな自然を持った宝の山である。雁回山の整備を前市長のときから願っていたが、今回の市長のマニフェストに入っており、嬉しく思う。今後は、新熊本市総合計画の1つの柱として位置づけをして、予算化してほしい。</p> <p>雁回山の南は、宇土市、宇城市となっており、従来、雁回山周辺地域整備連絡協議会が、40年間整備に取り組んできた。合併後、南区に城南、富合が入り、北面は全て熊本市の財産となった。</p> <p>したがって、今後は雁回山に関しては熊本市がリードしてほしい。今までは寄り合い会議のようなものだったが、今後は熊本県知事、熊本市長他、関連市長同士の首長会議で話し合って、総合的に事業を進めてほしい。</p> <p>議題としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・源為朝の銅像の建設 ・自動車登山道の建設 ・展望所の周囲の木の伐採（周辺の木が大きくなったため、展望所が見えなくなり、今は休息所になっている。すぐできることはやってほしい。） ・積極的なPR活動、登山誘導策などがあると思う。 <p>行政だけでなく、周辺地区で盛り上がる必要もあり、前の城南町長、富合町長にも、リーダーとなって推進母体をつくるようお願いしている。</p> <p>雁回山は立派な山なので、市長には必要な整備をお願いしたい。</p>	<p>雁回山も含め、森の都という割には熊本は森が少ないと感じる。市役所14階から眺めると、森はほとんど見当たらず、南側は雁回山の手前まで市街化されていて、森がない。</p> <p>金峰山、立田山、託麻三山、その向こうに阿蘇があるが、こうして市域全体を考えると、森の都と言われたのは昔の話で、最近では、よほど東京の方が皇居や御苑など緑があると思う。</p> <p>そこで、現在、そういう緑のあるエリアを、自然環境を感じていただくような憩いの場として位置づけることが必要だということで、環境の部署と話をし、憩いの場である立田山や金峰山、雁回山、託麻三山など、東西南北それぞれにある緑を、どのように今から未来へ繋いでいくのか考えるようにしている。緑は、熊本の宝である。</p> <p>それと同時に、水が湧き出す水前寺から江津湖、加勢川にかけて脈々と続く水の流れも、しっかり活かしていきたい。</p> <p>それぞれのスポットだけでなく、全体としての自然環境、観光にも繋がるストーリーを考えていくことが重要だと思っている。</p> <p>（雁回山は、緑豊かな自然を肌で感じ、麓の六殿宮、木原不動尊、御陵貝塚、また、近くの塚原古墳公園や下田のイチョウなどの歴史や文化にふれ楽しめる憩いの場であり、南区の自然環境・観光の拠点として位置づけている。</p> <p>これまで、本市独自でも、また、熊本森林管理署、熊本県宇城地域振興局、宇土市、宇城市、本市で構成する雁回山周辺整備連絡協議会（以下「協議会」）によっても、遊歩道の整備や案内看板の設置、パンフレットの作成、情報発信などに取り組んできた。</p> <p>今後、協議会の組織体制とあわせて雁回山の整備に当たっては、自然環境との調和を前提に、関係部署や協議会と連携を図りながら、地域のみならず多くの方々に愛され、守られ、訪れていただけるよう対応していく。</p> <p>なお、休息所の眺望確保については、協議会事業により本年度中に実施する予定である。【南区役所農業振興課】）</p>	南区役所 環境局	農業振興課 環境共生課

No.	ご意見	回答	局	担当課
	<p>（１）川尻のまちづくりについて 川尻は、文化と伝統、緑が豊かであり、加勢川、緑川とすばらしい自然環境の中にある。 その中でいかにしてまちづくりをしていくか、熊本市の意向にそって、昭和61年南部地区市民の会を立ち上げ、まちづくりに着手した。 その結果、キャッチフレーズ、“住んでみたい町、住んで良かった町、川尻”ということで、大半の人が住んで良かったというのが実感だと思ふ。 案件事項として、3つお願いした結果、1.重要文化財となった御蔵（おくら）の補修工事、2.伝統を受け継いで行うまちなみ景観づくり（これは計画、協定まで進んでいる。）、3.川尻のシンボルである公会堂の耐震化工事、これらは今着々と進んでおり、平成30年には全て完成して、見違える川尻になると思っている。</p>	<p>（１．御蔵（外城蔵）については、国指定史跡「熊本藩川尻米蔵跡」を構成する重要な文化財として、平成26年度より東蔵の保存修理工事に着手をしており、平成30年度末の完成を目指して工事を行っている。【文化振興課】）</p> <p>（２．川尻地区においては、昨年度地域と協働で「川尻地区の歴史を活かした町並みづくりガイドライン」を策定し、助成制度を制定した。また、第五町内（中町（なかもち）・下町（しもまち）・小路町筋（しゅうじまちすじ））と外城筋（とじょうすじ）の2地区が町並み協定を締結された。 この町並み協定が締結された通りにおいて、町並みガイドラインの基準に沿って修繕・改修される町屋や一般建造物の工事費の一部を助成する制度を平成27年4月から開始している。【開発景観課】）</p> <p>（３．川尻公会堂については、現在、耐震改修の設計業務を進めており、完了後は、この設計に基づき改修工事を行う予定である。【南部出張所】）</p>	観光文化交流局 都市建設局 南区役所	文化振興課 開発景観課 南部出張所
7	<p>（２）川尻の精霊流しと花火大会について 精霊流しは400年、花火大会は130年の伝統を受け継いでおり、次世代へ繋いでいくべき伝統行事である。 花火大会については、当初は行政主体だったと聞いているが、その後、自治会連合会が主体となり、現在では実行委員会を実施している。資金については、平成17年まで行政から60万の助成を受け、平成18年に30万に減額、平成21年に助成金は出なくなった。現在の運営費は、川尻3,000全世帯からの負担金、校区内外の企業からの協賛金・寄付金でまかなっている。 地域の活性化、繁栄、県内外からの集客を趣旨としており、今後のまちづくりの観点からも続けていきたいが、運営資金の不足で厳しい状況となっている。同じく特例区がはずれた富合、城南も、財源不足で中止せざるを得ない状況だ。 先日実施された植木温泉の花火大会は予算が250万円というが、今月末に実施予定の江津湖の花火大会の予算がどうなっているのかも気になる場所である。 地域の活性化・繁栄・集客が趣旨ならば、川尻の花火大会も同じである。したがって、川尻が補助金を申請した場合、熊本市として検討してもらい、是非、花火大会を続けさせてほしい。</p>	<p>花火については非常に要望が多い。市長選の際に実施した政策立案会議の中でも、市民の方々から、江津湖、藤崎台、植木などの花火大会の話が出た。 長年大規模に続けてきたこともあり復活を要望する声が多く、今回また開催することになった江津湖での花火大会に関しては、約13万人の集客がある想定で、自主警備は総勢1,300人以上、交通規制もかけて実施することから、財政面での規模もかなり大きい。 この江津湖での花火大会は、地域の花火大会やお祭りとは少し意味合いが異なり、熊本市を代表する花火大会として実施するものである。そのような意味で、まずはこの花火大会の成功を、ぜひ市民の皆さんと共有させていただきたい。 他方、植木の場合は、植木温泉観光旅館組合で実施していて、予算の名目も異なる。 花火大会については、熊本市を代表する花火大会として行うものと、各地域で続けていくものとのバランスが難しいが、小額の補助などで地域の花火大会が実現し継承されていくのであれば、検討の余地はあるものと考えている。ただし、市の財政全体のバランスがあるので、今ここで実施できると申し上げることはできない。 各地域で次世代へ受け継いでいけるものについては、行政でサポートをしながら、地域の方々が主体となって実施していただく形になればよいと考えている。そのような中で、行政としての協力のあり方について、本市の中でも議論していきたい。</p>	観光文化交流局	観光振興課 にぎわい推進室

No.	ご意見	回答	局	担当課
8	<p>南区の歴史について 富合、城南、天明、川尻は、川尻城を築いていた川尻氏の勢力範囲であった。 この地域近辺は、鎌倉・室町時代の鎮西八郎源為朝の話、川尻氏の話、北の菊池氏の話など、壮大なドラマがあった地である。 ところが、今の熊本市で注目されるのは加藤清正ばかりである。熊本市の他の地域に住む方々にとっては何も問題ないと思うが、川尻の歴史を考えれば、我々住民からすると、この状況はどうにかしなければという思いである。</p>	<p>川尻地区については、河尻神宮をはじめ国指定史跡である熊本藩川尻米蔵跡（外城蔵跡・船着場跡）や西南戦争時の薩軍本営跡など歴史的にも非常に価値の高い観光資源が存在しており、これらを活かした観光振興を図っていく。</p>	観光文化交流局	観光振興課
	<p>防災対策について 先日、愛媛、大分と続けて地震があったが、その線上には雁回山、松橋、日奈久があり、この下には以前日奈久断層といわれていた大きな断層がある。複雑な断層が沢山あり、日奈久断層を境にして西側に小さな断層がある。ここでは、体に感じないくらい小さな地震が1日200回くらい起きているが、これは熊本の西側がどんどん沈降しているためである。 つまり、熊本市のど真ん中には大きな断層があって、それがどんどん沈んでいる。一方、南の方には宮崎県の硬い岩帯がある。この沖合いにエネルギーが溜まっている。南海トラフだ。これが北側へ動くと、熊本、大分、愛媛を結ぶ断層に影響を与え、直下型の大地震も引き起こすことになる。この断層が空港の真下や、南区の真下にもある。 のんびり構えていては危険な状況なので、もっと防災体制を真剣に検討してほしい。</p>	<p>断層も含めて、防災対策の重要性についてのご意見をいただいた。 県も市も、それぞれで地域防災計画を作っているが、リアルタイムの状況もしっかりと把握しながら取り組んでいきたい。</p>	総務局	危機管理防災総室
9	<p>（１）地縁団体について 市内の町内自治会の数は、現在900近くあるようだ。一方で、地縁団体は、200くらいあるらしい。 私達の地区では、先祖代々、土地や農地などについては、そのほとんどが地縁の名前ではなく個人名義で登記されてきていた。 この状況ではいろいろな問題もあるということで、私達も10年ほど前に地縁団体をつくり認可を受けた。そして、公民館や地縁の土地の登記上の名義を、個人名から私達の町内の名前に変更したところである。 先般、市役所に尋ねたところ、現在900ある町内自治会のうち200くらいしか地縁団体の認可を受けていないということだった。現在、地縁団体の認可は区単位で行われているということだが、ぜひ地縁団体を容易につくることができるようにしてもらいたい。 地縁で利用している土地でも、登記上の名義が個人名のため何十年も変わらずそのままというものが相当ある。</p>	<p>地縁団体の認可における課題についても、これから検討していかねばならない。</p>	市民局	区政推進課

No.	ご意見	回答	局	担当課
9	<p>（２）公民館建設の補助について 現在、市内には校区が90くらいあり、そのうち、地域コミュニティセンターが70くらい設置されているらしいが、天明には未だにない。 そこで提案がある。市営住宅も新たに建設しないという中、コミュニティセンター自体は昨年だけで4億円分建設しているらしいので、コミュニティセンターをつくらないなら、その代わりに、どこでも老朽化している公民館の建設費用の補助率を、現行の5割から7割～8割に上げてほしい。</p>	<p>地域コミュニティセンターがない地域・校区が、現在19箇所ある。全ての校区に1つずつあるのが理想ではあるが、土地の問題、地域からの要望の問題などさまざまな理由があり、未設置という現状がある。 南区の中では、富合、力合でも地域コミュニティセンターを要望する声はかなり多くなってきている。今後、地域の皆さんが集まる拠点がどれくらい必要なのかということも含め、設置については、しっかりと考えていかなければならない。 また、公民館が老朽化しているとの話があったが、私が心配しているのは、今70くらいあるコミュニティセンターが、30年後には確実に老朽化していくということである。修繕の必要が出てくる時期の管理も見据えて計画を作っていかなければならない。 私は特に地域主義を掲げているが、地域にあるコミュニティを大事にするためにも、皆さんが集まる場所の確保は、大変重要である。したがって、何とかつくっていかねばならないと思っているが、それと同時に私たちの子・孫・曾孫の世代、74万人の人口が65万人に減少したときの維持管理についても考えていかなければならない。 まず、地域の実情に合わせながら考えていきたい。</p>	市民局	生涯学習推進課
10	<p>住宅リフォーム助成制度について 私は、建築の労働組合の役員をしている。市長への要望は、市にも住宅リフォーム助成制度を作ってもらえないかということだ。 市長の話の中にも2025年問題という言葉があったが、急激に少子高齢化が進む中、若者の進学・就職などにより、地域には高齢者が残される。そのため、家が老朽化しても高齢者では修理ができず、雨漏りのする家に我慢して住むような時代がくると思う。 そのような問題に対応するためにも、工事費用の30%程度が出る助成金を市でつくってもらい、高齢者でも工事がスムーズにできるような制度にしてほしい。 私達は建築の労働組合だが、営利目的でこういうことを考えているのではない。建築に携わる腕のいい職人の方々も高齢化していて、ゼネコンなどの大きい現場に入れなくなり仕事がない状況だ。そこで、住宅リフォーム助成制度を作ってもらえれば、地域に繋がった取組みとして発展していくのではないかと考えている。 私は川尻で植木屋を30年やっているが、以前は賑わっていたまちが、あちこちシャッターが下りた寂しいまちになってきている。助成制度を作ってもらえれば、このようなまちも、もう少し活気づくのではないかと思う。 具体的な事例を挙げると、昨年、天草市で1千万弱の予算で住宅リフォーム助成制度がスタートしたが、これが好評で、短期間で予算額を使ってしまい、天草市議会でも追加1億円の予算をつけたところ、これも使い切るような状況で好評だった。今年度も、最初から1億円の予算で住宅リフォーム助成制度を進めている。 天草市のように、助成金の30%の支払いは現金ではなく地域の商店街で使える商品券にしたらどうか。大型店ではなく地域の商店街で使えば、地域にある小さな店も発展していくのではないか。この助成制度を作ってもらえれば、まちおこしにも繋がると思う。 既に、市議会議員や市の建築関係の部署にも要請したが、市の予算は個人住宅には使えないことなどを言われ、断られた。 政令指定都市である熊本市がこの住宅リフォーム助成制度を作れば、他の市町村にも波及していくので、ぜひ市長にお願いしたい。</p>	<p>一般向け住宅リフォームの助成制度については、毎回、議会ですぐと議論が出ている。本市としては、74万市民に行き渡るようにするには財源の確保が難しく、個人が所有する住宅の修繕や改修にどこまで公費による支援を行うかについて慎重な検討が必要であることから、今後も、現在実施している介護保険住宅改修や高齢者・障がい者のための住宅改造、戸建木造住宅耐震改修・耐震診断等の各政策目的に沿った公益性の高い制度により支援を行っていくと答弁しているところである。 山鹿市や宇土市などで実施している事例もあり、他の自治体の取り組みについては勉強させていただきたいが、自治体の規模の問題もある。熊本市くらいの規模となると、助成制度を1つ作るにも相当な検討を重ねなければならぬことは、ぜひご理解いただきたい。 市民の皆様が助かる良い制度か、持続可能性はあるかなどに加え、他との優先順位等も考慮しながら検討していかなければならない。一般向け住宅リフォーム助成制度に関しては、現状では検討しながらも難しいが、皆様のご意見やアイデアはいただいていたいく。</p>	農水商工局	産業政策課

No.	ご意見	回答	局	担当課
11	<p>ごみ収集について 日頃、家の周りを見ていると、ごみ収集車をよく見かける。市の車と民間委託の車が交互に来ているかと思うが、今回のごみ関連部署職員の不祥事を受けて、検討してほしいことがある。市の車を徐々に減らすか、民間委託するなどしてほしい。市の車で、1台に3名乗車して作業をするのは無駄ではないかと思う。その無駄を省いて、その分を違う市政運営に充ててほしい。</p>	<p>ごみ収集に関しては、不祥事で皆様にご迷惑をお掛けしたことも含めて、事業・体制のあり方につき、他の「ドンドン語ろう！in〇〇区」でもご意見をいただいた。 総合的に検討し、効率的な体制を考えていきたいが、災害時など、市が直営で収集体制を持っている方がいい場合もある。例えば、平成24年7月に白川が氾濫したとき、民間ではできないところを直営で対応したこともある。 現在、乗車人員や直営と民間委託の割合とバランス等も含め、クリーンセンターのあり方について関係局の中で議論をしているところである。できるだけ効率のいい行政を目指し、頑張っていきたい。</p>	環境局	廃棄物計画課
12	<p>野球場について 熊本には、野球場が足りないと感じている。高校野球で、熊本の代表が甲子園で1回戦負けしたが、野球場が足りないことも原因だと思う。なぜならば、雪国では雨天練習場をつくっているのが雪が積もっても練習できる。その一方で、熊本は雨だと練習ができない。藤崎台球場も老朽化しており、いずれ移転の話があると思う。 県が新球場の場所を選定するなら、川尻駅の裏に田んぼが広がっている。南区が県に協力を申し出て、川尻駅の裏に野球場を建設してほしい。 新幹線も開通し、今度は西熊本駅もできるので、交通アクセスも相当良くなっており、仮にドーム球場ができればプロ野球も呼べるのではないか。球場は、ぜひ野球場と雨天練習場を併設した施設としてほしい。 もし、県が新球場をつくるということになった場合には、川尻駅の裏だけでは場所が狭ければ、周辺の土地が空いている地域も含めて、県に強力に進言してほしい。</p>	<p>野球場については県営なので、県がつくると判断しなければならない。それでは、つくる際には熊本市につくるのかといえば、菊陽の方につくってほしいなど、いろいろな意見が出ているので、県としても簡単にはいかない。場所の話から始めると、新球場はできなくなってしまう。 場所の話の前段階として、今の球場のあり方がいいのかどうか、老朽化に対しては将来どうするのかなどの諸問題について、今漸く整理を始めたばかりである。 県が球場に関してどうするのかは大きな問題なので、いろいろ考えていきたいが、今進み始めたばかりなので、見守っていただきたい。</p>	観光文化交流局	スポーツ振興課